

全農多収米

にじのきらめき速報 No.1

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

秋麦の候、田植え作業から約1ヵ月が経過しました。4月の強風の影響により植え痛みにより障害が圃場によっては発生しています。5月上旬から中旬の気温や日射量は平年並みでしたが、全般的に水稻の生育は弱く、進捗は遅延気味です。引き続き、浅水管理を慣行し茎数増加を促しましょう。また、例年ですと梅雨入りは6月14日頃ですが、太平洋高気圧の北への張り出しにともなう梅雨前線の南下の影響により不確実性はありますが本年度は、梅雨入りが遅れるとの報道もあります。

1. 品種特徴と収量目標



- ◆ 品種名 : にじのきらめき
- ◆ 作型 : 中生
- ◆ 収量目標 : 660kg/10a
- ◆ R5最多収量 : 640kg/10a

【特性】

- 高温耐性に優れた多収の極良食味
- 耐倒伏性が強い(短稈)、縞葉枯病に抵抗性である

【栽培のポイント】

- 11俵程度の多収には、窒素成分を11~13kg/10a(穂肥の施用により収量が増加)
- 収量700kg/10aを得るためには、440本/m²の穂数を確保する
- 出穂後20日間の平均気温が28.0℃未満であれば正粒歩合70%程度を達成できる確率が高まる

- 生育は、平年より草丈は長く、茎数は平年並み葉色も安定し、初期生育は良好です。

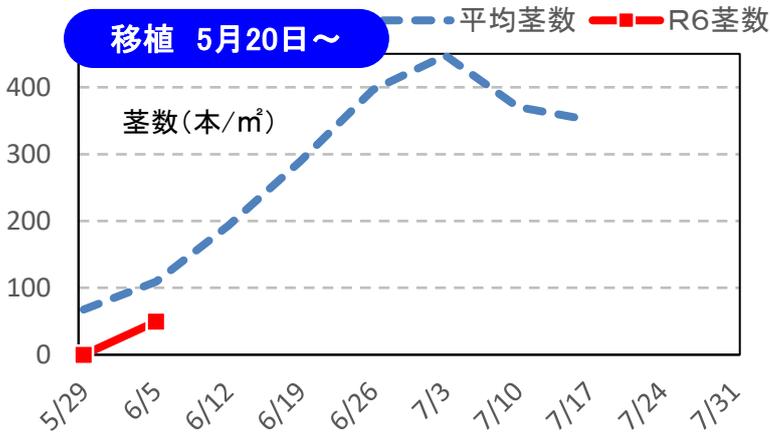
【平年比】

- 草丈 : 長い
- 茎数 : 多い
- 葉色 : 濃い

2. J A 生育調査状況 (6月5日現)

栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉令	葉色
移植	5月20日	28.0	154.4	-	4.2

3. 茎数の推移と今後の管理



4. にじのきらめき栽培管理のポイント

浅水管理で分けつの発生を促しましょう。

【軟弱徒長の抑制】

日照不足と深水管理による稲の軟弱徒長は、活着後の浅水管理や田干しを実施。

□ 中干しまでは浅水管理で分けつを促しましょう。

□ ニカメイガ

- 例年ニカメイガの発生の多い地域や登録のある農薬を施用していない場合は防除しましょう。
- 本年の防除適期は、粒剤が6月1日頃、粉剤が6月5日~10日頃です。

